

保健師教育を主に担当されている教員の皆様

「乳児のフィジカルアセスメントに関する基礎教育の実態についての調査」 研究説明書

1. この研究の概要

【研究課題名】

「乳児のフィジカルアセスメントに関する基礎教育の実態についての調査」

※「乳児の股関節脱臼の見落としゼロを目指す異常判別 AI とコミュニティスクリーニングシステムの開発: 地域看護職向け超音波検査教育プログラムの開発と実装」(審査番号 2023101NI-(3))の一環で行います。

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

主任研究機関 東京大学大学院医学系研究科・地域看護学／公衆衛生看護学分野

研究責任者 准教授 吉岡京子

担当業務 研究の総括、対象者のリクルート、調査票作成、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻 地域看護学・公衆衛生看護学教室ホームページ(以下、教室ホームページ)・Microsoft Forms 管理、分析結果の解釈

【業務委託先】

この研究に利用する情報は共同研究機関のみで利用されます。

【研究期間】

承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日

【研究目的・意義】

新生児訪問や乳児健診は、児の健康・発達を評価する重要な機会です。保健師は、問診や手技を用いたフィジカルアセスメントを通じて児の発達を評価していますが、そのスキルの低下が懸念されています。さらに、団塊世代の大量退職による技術伝承の危機や、新型コロナウイルス感染症の影響により臨地実習や新生児訪問の経験が不足している新人教育の課題も顕在化しています。近年は、股関節脱臼に関する評価が、個人の経験と勘に依拠している側面が大きいことが明らかになりました。しかし、基礎教育機関である保健師学校において、どのような内容がどのような方法で教育されているのか、その実態は明らかになっていません。

そこで本研究では、保健師学校における股関節脱臼をはじめとした乳児の健康・発達のフィジカルアセスメントの教育実態を把握することを目的とした全国調査を実施します。この調査を通じて、基礎教育におけるフィジカルアセスメント力の向上に向けた見直しの基礎資料を提供し、今後の教育内容の改善に対する示唆を得ることを目指します。

【研究方法】

- 1) 「保健師教育を主に担当する教員の皆様」は、本研究の依頼状と研究説明書(本状)をお読みください。
- 2) 本研究にご協力いただける場合は、依頼状に掲載された二次元コードを読み取るか、記載した URL によって、東京大学の作成した Microsoft Forms に自らアクセスしてください。
- 3) 研究説明書(本状)をお読みいただき、Microsoft Forms 上の説明事項と研究参加への同意ボタンを押し下げ同意してください。研究説明書は、研究参加者が研究期間中いつでも閲覧できるように、教室ホームページに掲載されます。
- 4) 研究対象者は、以下の項目について、回答を入力してください。
 - ① 令和 5 年度の卒業生・修了生の保健師教育課程区分と学生数
 - ② 保健師教育課程の教員数や、教員の母子保健事業および新生児・乳児訪問の経験年数
 - ③ 非常勤の実習指導教員の確保状況
 - ④ 新生児・乳児訪問で用いるフィジカルアセスメントの教育体制・認識

- ⑤ 新生児・乳児訪問におけるフィジカルアセスメントの教育内容・方法
 - ⑥ 股関節脱臼の臨床所見・リスク因子として教育している項目
 - ⑦ 股関節脱臼予防のための保健指導として教育している項目
 - ⑧ 新生児・乳児訪問でも用いる感染対策として教育している項目
 - ⑨ 令和5年度の卒業生・修了生のうち、実習で新生児・乳児訪問に同行できた学生の割合
- 5) 本調査は匿名でご回答いただきますので、同意撤回やデータの削除ができません。
- 6) 2025年1月頃にリマインダーのためにはがきを送付しますが、匿名回答のためすべての学校へ送付することをご了承ください。研究者から調査協力依頼のお電話をさせていただく場合もあります。研究計画書や、研究方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究参加者の個人情報等の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、ご提供させていただきます。

○研究の中止基準

研究参加により過去のネガティブな体験を想起し、精神的苦痛が発生した場合等は、研究参加者ご自身が判断し、研究参加を即刻中止して下さい。本研究による重篤な有害事象の発生は想定していません。

2. 研究参加の任意性と撤回の自由

この研究にご参加いただくかどうかは、研究参加者の自由意思に委ねられています。研究にご参加いただけない場合にも、あなたの不利益につながることはありません。研究にご参加される場合は、この研究説明書を熟読した上で、研究の内容について理解いただき、研究参加に同意する方が Microsoft Forms 上の説明事項と研究参加への同意ボタンを押し下げ、同意します。

本研究は匿名でご回答頂きますので、同意撤回やデータの削除ができませんのでご了承ください。ただし、回答期限内に回答者自身の Microsoft アカウントにサインインすることで、回答を編集することができます。

3. 個人情報の保護

この研究に関わって取得される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。本調査は匿名で実施し、個人情報は取得しません。

調査が終了した後に Microsoft Forms の管理者である東京大学が、データにパスワードをかけて固定します。データの授受は、研究責任者と研究分担者のみがアクセス可能な、国立情報学研究所の GakuNin RDM というクラウドで共有・保存されます。研究責任者・研究分担者は、データをパソコンには保存しません。本調査で用いる資料や情報等は、研究責任者・研究分担者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコン、鍵のかかるロッカー等で厳重に保管します。

4. 研究に関する情報の公開および研究により得られた結果等の取扱い

研究の成果は、個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌で公表します。個人的なお問い合わせをいただいた場合でも、個人情報を収集しない調査であるため、個別の研究結果についてはお伝えすることができません。下記のお問い合わせ先に連絡いただければ、全体の研究結果についてはお伝えいたします。

国内外の学術雑誌での公開にあたっては、研究成果の第三者による検証や複数の研究の結果を統合して統計的に検討する際の原資料となることもあるために、解析・論文作成に用いた資料を学術雑誌社・学会(誌)へ提供・公開すること、また保管されることがあります。

5. 研究参加者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、あなたに直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとはいえません。しかし、研究参加者は、自組織におけるフィジカルアセスメント教育について、調査への回答を通じて振り返り、その充実に向けて示唆を得られる可能性があります。一方、不利益な面として、調査回答のために約 10~15 分の時間を割く必要があり、心理的負担を要します。

なお、本研究による重篤な有害事象の発生は想定していません。治療の際はあなたが加入している健康保険が使用されますので、一部御負担いただくことになります。

6. 研究終了後の試料・情報等の取扱い方針

取得した資料・情報等は、原則としてこの研究のためにのみ使用します。

WEB 調査終了後、Microsoft Forms は、東京大学によりデータ収集が終了した段階で一旦閉鎖し、その後完全に消去されます。

研究期間終了 2028 年 3 月末以後、取得した資料・情報等は、紙で保存されている場合はシュレッダー処理、電子情報で保存されている場合はその削除等により廃棄します。なお、データは国立情報学研究所の GakuNin RDM というクラウドで保存され、将来的に他の研究者によりデータが二次的に活用される可能性があります。

7. あなたの費用負担

今回の研究に必要な費用について、あなたに負担を求めることはありません。なお、あなたへの謝金もございません。

8. 研究から生じる知的財産権の帰属

本研究の結果として知的財産権等が生じる可能性があります、その権利は国、研究機関、民間企業を含む共同研究機関及び研究従事者等に属し、研究参加者はこの知的財産権等を持ちません。また、その知的財産権等に基づき経済的利益が生じる可能性があります、これについての権利も持ちません。

9. その他

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。なお、この研究に関する費用は、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所研究データエコシステム構築事業「乳児の股関節脱臼の見落としゼロを目指す異常判別 AI とコミュニティスクリーニングシステムの開発」、JSPS 科研費「新生児訪問で股関節脱臼のエコスクリーニングを行うための教育プログラム開発と実装」、JSPS 科研費「フレキシブルプローブを用いた股関節脱臼リアルタイムアセスメント方法の開発」(研究代表者: 吉岡京子) から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何かご心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。また、この研究説明書は HP にも掲載しておりますが、お手元で大切に保管してください。紛失等により問合せ先が分からなくなった場合は、研究責任者・研究分担者にご相談ください。

【共同研究機関】

主任研究機関 東京大学大学院医学系研究科地域看護学・公衆衛生看護学

研究代表者 准教授 吉岡 京子

研究分担者

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・地域看護学・公衆衛生看護学

助教 本田千可子 松本博成

研究機関 東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナーシングリサーチセンター

特任研究員 城内愛

研究機関 京都大学大学院医学系研究科

准教授 塩見美抄

研究機関 千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科

准教授 細谷紀子

2024 年 12 月吉日

【連絡・お問合せ先】

研究責任者・連絡担当者: 吉岡京子

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻

地域看護学・公衆衛生看護学分野

Tel: 03-5841-3597/FAX: 03-5802-2043

E-mail: kyokoy-ky@g.ecc.u-tokyo.ac.jp